※令和３年度以前入学生用

学校番号	T1202

令和５(2023)年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	２～４年次
使用教科書	「改定　新編　地学基礎」（東京書籍）						
副教材等	自主制作プリント、視聴覚教材等						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

宇宙の姿、大地の活動、地球と生物の歴史、大気と海洋の運動について学びます。生命にあふれた私たちの地球環境が、いかにして生命を生み、育んできたのかを理解してほしいと思います。教科書だけでなく、視聴覚教材なども多く使って授業を行いますので、壮大な自然のイメージを膨らますとともに、その中にある法則や、相互の関係を多面的に理解することが大切です。
様々な話題が出てきますが、できるだけ興味をもって、自分で考え、論理的に確かめ、まわりの生徒と意見を交換しながら理解を深めてください。正しい答が必要なのではなく、何が正しいのかを論理の力で考える態度を身につけてほしいと願っています。

２ 学習の到達目標

宇宙の姿、大地の活動、生物の歴史、大気と海洋の運動と様々なことを学びますが、それらが現在の地球、私たちの身の回りのできごとにどのように関係しているのかを考えること。様々な事実をもとに、論理的に考えて結果を予測する態度を身につけることが目標です。様々な自然に興味をもち、みんなと一緒に不思議を解明するおもしろさがわかってもらえたら、担当者としてはうれしい限りです。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	いろいろな自然現象がどうなっているのか、なぜそうなるのかに興味をもち、科学的な現象にわくわくすること。不思議や疑問を聞いてみようとする自由な態度。何よりも科学が大好きになること。それが一番大事！	何よりも自分で考えてまわりの人や先生に積極的に質問すること。いろいろな現象を科学的に考え、それを話したり、発表すること。まわりの人に自分の考えをうまく伝えること。わかりやすくプリントにまとめること。	目の前のものをきちんと見たまま書き表すこと。指示された観察や実験を確実に行うこと。どん観察や実験をすれば自分の考えを確かめられるか考え、実行すること。実験結果をわかりやすくまとめること。	授業で話題にするさまざまなものごとについて理解できていて、人に説明でき、プリントにまとめられる。経験したことのない現象を論理的に考えて結果を予想する。当たればもっといい!
評価方法	授業中や前後の質問や発言。プリントに記入した質問や感想。楽しく学ぶ授業への姿勢。	授業中や前後の質問や発言。まわりの人との話した内容。プリントに記入した内容。そして試験の点数。	観察や実験中の態度と正確さ、班の人と協力する姿勢。観察・実験プリントに書かれた内容。そして試験の点数。	授業中の受け応え。授業プリントに書かれた内容。そして試験の点数。

※令和３年度以前入学生用

上に書いたさまざまなことがらを総合的に判断して、最後に、できるだけ客観的･公平に５段階の評定を出します。何よりも、科学を好きになり、みんなで考えることが大切！

４ 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期前半	宇宙の進化	宇宙の構造と進化	○	○	○	○	a:宇宙に興味をもつ。 b:宇宙のありようを正確に知り、その構造を論理的に考えられる。 c:天体を観測したりその動きを調べたりする作業を確実に行える。 d:宇宙がどのような法則で成りたっているかを構造的に理解している。	全般的な学習状況 考査の成績 プリント教材の記入 感想の記入 授業中の取り組み姿勢 授業中の発言等 授業中の協調姿勢 観察・実験の基本操作と態度 画像や図表を読み取る力 データ処理の的確さ その他
		太陽と惑星	○	○	○	○		
前期後半	地球の変遷と生物の進化	地層や岩石の観察	○	○	○	○	a:地層が岩石、古い時代の生物に興味をもつ。 b:地層や岩石ができたり、ある生物が繁栄した背後にある法則の存在に気付き、積極的に考える。 c:観察や視聴覚教材を見て、現象の背後にある法則を見つけ、いろいろと議論する。 d:得られた知見を科学的構造的に理解し全体像を多面的に理解できる。	
		生命の変遷	○	○	○	○		
後期前半	大地	大地とその動き	○	○	○	○	a:大地変動する様々な現象に興味をもつ。 b:プレートテクトニクスの理論を理解し、個々の現象を説明できる。 C:様々な現象を観察してそれが起こった要因を推測することができる。 d:プレートテクトニクスの理論をベースに様々な地殻現象を構造的に理解している。。	
		地震	○	○	○	○		
		火山	○	○	○	○		
後期後半	空と海・地球のこれから	大気と海洋	○	○	○	○	a:海水や気象の現象に興味･関心をもっている。 b:複雑な現象の本質を論理的･科学的に考え議論できる。 c:観測された画像やデータを分析して海洋や気象の現象を説明できる。 d:様々な海洋や気象の現象を構造的論理的に理解している。	
		自然の恵みと防災	○	○	○	○		
		地球環境の考え方	○	○	○	○		
		自然環境の変動	○	○	○	○		
		これからの地球環境	○	○	○	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:観察・実験の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。